



ヒューマンコミュニケーショングループ  
*Human Communication Group*

ニュースレター

2007 年度 No.1

URL: <http://www.ieice.org/hcg/jpn/>

### Contents

- ・ 新運営委員長挨拶
- ・ 第 12 回 HCG シンポジウム報告
- ・ Web インテリジェンスとインタラクシ  
ョン研究会 (WI2) 活動報告
- ・ 研究会・関連行事カレンダー

ヒューマンコミュニケーション  
グループの特色と今後の方向性  
平成 19 年度ヒューマンコミュニケーシ  
ョングループ運営委員長 行場次朗(東北大学)



ヒューマンコミュニ  
ケーショングル  
ープ(HCG)は、平成 7 年度  
の発足以来、今年度  
で 13 期目を迎えました。そして、人とコミュニ  
ケーションや、人と  
情報メディアに関する  
研究領域を幅広くとり

あげ、電子情報通信学会の中にあつて、4つのソサイアティとは異なるグループという組織体制をとることにより、常に機動性のある横断的な活動を精力的に展開してきました。

HCG には現在、「ヒューマンコミュニケーション基礎研究会(HCS)」、「ヒューマン情報処理研究会(HIP)」、「マルチメディア・仮想環境基礎研究会(MVE)」、「福祉情報工学研究会(WIT)」の4つの第一種研究会があり、また、「Web インテリジェンスとインタラクシオン研究会(WI2)」と昨年度に新しく発足した「脳情報通信研究会(BCT)」の2つの第二種研究会、そして「ヴァーバル・ノンヴァーバルコミュニケーション研究会(VNV)」と出来立ての「料理メディア研究会(CM)」の2つの第三種研究会があります。どの研究会も、情報科学技術フォーラム(FIT)や総合大会などでニュークな特別企画などを積極的に行ってきました。英文論文誌Dで企画されてきたヒューマンコミュニケーション小特集号も3度目に

なり、2008 年 6 月発行を目指して現在広く投稿を呼びかけています。

HCG の大きな特徴としてあげられるのは、電子情報通信学会とは、一見、フィールドやアプローチを異にする多彩なコミュニティ(心理、脳科学、福祉、芸術関係)との連携が多く、ニューロンに喩えて言えば、細胞体そのものは小さくとも、樹状突起が広く張りだされ、シナプスも多彩な方向に形成されている状態といえましょう。そのお陰で、現在、HCG に登録されている方は 1000 名近くになりますが、その数は減少することなく維持されております。また、私のような文学研究科に所属するような研究者でも、違和感なくのびのびと活動できる場が HCG の中では醸成されてきました。

このように HCG の活性化レベルは高いのですが、各ソサイアティが独立採算制に移行する中で、HCG もグループ性を維持するのか、ソサイアティに移行するのが大きな問題になっています。相澤前委員長のもとで、会員のニーズ、予算面、論文誌等にかかる人的資源などの問題が綿密に議論されました。現在、縦型のソサイアティに対して HCG は横断的なバランスをとっているのに(HCG に参加している方は A ソサイアティに 23%、B に 16%、C に 7%、D に 54%)、ソサイアティ化して HCG が縦型になると種々の軋轢が生じるのではないかと、第 1 種研究会が現状では 4 つしかないのに論文誌を発行していくのには無理があるのではないかなどの問題が指摘されました。近々、HCG に登録されている方、全員にアンケート調査も実施する予定です。

昨年度のニュースレターで、相澤前委員長は、「かなり異なる背景の人が集まるため、HCG は共通の興味で結びつ



く“同好会的色彩”が強い。学会活動の基本に立ち返るような意味で、HCGのような組織はとても貴重だと思う。」と述べられております。そのような基本的意義は電子情報通信学会の中だけでなく、フィールドやアプローチを異にする多彩なコミュニティからも広く認められていることは、私自身や HCG のユニークな研究会活動に参加されている大勢の方々が同感されていることと思います。今後とも HCG 活動へのご参加・ご支援を何とぞよろしくお願いいたします。

### 第12回ヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)シンポジウム報告

宮崎慎也 (中京大学)

ヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)では、毎年の恒例となっているグループ大会を、本年度は、名城大学で開催された本会総合大会(3月20日-23日)に引き続き、3月23日と24日、中京大学名古屋キャンパスにて開催しました。

昨年と同様に HCG 傘下の4研究会の研究会と第二種研究会「Web インテリジェンスとインタラクション」、「脳情報通信」、そして第三種研究会「ヴァーバル・ノンヴァーバル・コミュニケーション」が同時開催の形で行いました。6研究会合わせて、86件(昨年78件)の発表が行われ、多くの参加者による活発な質疑応答が行われました。また、優秀研究会論文を表彰する「ヒューマンコミュニケーション賞」の贈呈式も24日12:30~14:00に懇親昼食会の場(「アリーナ」ホール)にて行われ、計7名の受賞者には相澤清晴委員長より賞状と記念品が贈呈されました。

また、HCG 特別企画として、渡辺琢美先生(NTT)、光吉俊二先生(AGI)、そして谷藤学先生(理研)の3氏による特別講演「脳情報通信とユビキタス社会」、中島秀之先生(はこだて未来大)による

招待講演「マルチモダリティから見たコミュニケーション研究の地平」、岡本雅史先生(東京工科大)によるチュートリアル講演「ヴァーバル・ノンヴァーバル・コミュニケーション研究の課題と展望」が行われました。いずれのテーマも、ヒューマンコミュニケーションの今後を考える上で重要な視点であり、それぞれの分野の専門家の方にお話を伺い、活発な討論を行ないました。

なお、次回の日程は08年3月21~22日であり、総合大会(08年3月18~21日、於九州工業大学・北九州市立大学・早稲田大学)に引き続き行われる予定です(会場は近隣を予定)。奮ってのご参加をお願いします。

### Web インテリジェンスとインタラクション研究会(WI2)活動報告

専門委員長 土方嘉徳 (大阪大学)

Web インテリジェンスとインタラクション研究会(WI2 研究会)は、Web における人間の知的活動支援を中心に、Web 技術全般を取り扱う研究会で、2004年7月1日の設立後、3年が経過いたしました。この間、9回の研究会を行い、多い時では200名近い参加者にお集まりいただいております。Web 技術全般を専門に取り扱う研究会としては、国内唯一の研究会と言えます。

Web の研究を行っている既存の研究分野は多岐に渡っているのですが、当研究会の特徴としては、それぞれの分野における研究者が一堂に会し、分野横断的なコミュニティを形成している点にあります。具体的には、データ工学、人工知能、自然言語処理、ヒューマンコンピュータインタラクションの4分野です。

データ工学は、Web そのものが持つコンテンツや情報構造をデータ処理の観点から分析するアプローチを、人工知能は Web を知識の集合体とみなし、より人間の知的活動の本質に迫るアプローチ

を、自然言語処理はそれらの処理に必要な基盤技術となる自然言語で書かれた情報を理解するアプローチを、ヒューマンコンピュータインタラクションは人間とWebとのインタラクションをデザインするアプローチを取っております。

人間の知的活動において、より高度にWebを活用するためには、これらのアプローチが有機的に結合する必要があります。そのためには、各既存の研究分野に持ち帰らないといけない宿題もたくさんあります。本研究会では、より高い視点から見た、次世代のWeb技術を開発を行っていくことを目的にしております。

最近の話題としては、情報推薦技術があります。人間の嗜好や知識、知的

活動におけるコンテキストに合わせて、情報をユーザ適応する技術です。第7回研究会では、土方が情報推薦の基礎理論とユーザプロファイリング技術について、産業技術総合研究所の本村陽一氏がベイジアンネットワークによるユーザのモデリング技術について話をしました。第8回研究会では、デンソーアイティラボラトリーの大坪五郎氏が現在の情報推薦技術に対する問題提起について、京都産業大学の河合由起子氏がニュース推薦への応用について話をしました。

今後は、情報推薦に代表される、新たな研究分野を模索していければと考えております。



### ヒューマンコミュニケーショングループ研究会・関連行事カレンダー

詳しくは、HCG ホームページ <http://www.ieice.org/hcg/jpn/> をご覧ください。

— 2007年9月 —

★ヒューマン情報処理研究会(HIP)研究会

【期日】2007年9月3日(月)~4日(火)

【会場】名古屋大学東山キャンパス

【共催】PRMU と共催

★第6回科学情報フォーラム(FIT2007)

【期日】2007年9月5日(水)~7日(金)

【会場】中京大学豊田キャンパス

【HP】<http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2007/>

★料理メディア(CM)研究会

【期日】2007年9月27日(木)

【会場】未定(東京)

【題目】未定

★ヒューマンコミュニケーション基礎(HCS)研究会

【期日】2007年9月29日(土)~30日(日)

【会場】日本大学文理学部キャンパス

【題目】対面コミュニケーション

(顔を中心的メディアとした)

★ヴァーバル・ノンヴァーバル・コミュニケーション(VNV)研究会

【期日】未定

【会場】未定

【題目】未定

— 2007年10月 —

★マルチメディア・仮想環境基礎研究会(MVE)研究会

【期日】2007年10月4日(木)~5日(金)

【会場】旭川市科学館「サイバル」

【題目】仮想都市, 複合現実感, および一般

【HP】<http://www.ieice.org/~mve/>



— 2008年1月 —

★福祉情報工学 (WIT)研究会  
【期日】2007年10月19日(金)~20日(土)  
【会場】大阪大学コンベンションセンター  
【題目】福祉情報工学一般  
【HP】<http://www.ieice.org/~wit/program/index.html>

★福祉情報工学 (WIT)研究会  
【期日】2008年1月24日(木)~25日(金)(予定)  
【会場】島根大学  
【題目】思考と言語, 福祉と音声処理, 一般  
【共催】SP, TLと共催

— 2007年11月 —

★マルチメディア・仮想環境基礎(MVE)研究会  
【期日】2007年11月29日(木)~11月30日(金)  
【会場】愛媛大学  
【題目】パターン認識, メディア理解, および一般  
【共催】PRMUと併催

★マルチメディア・仮想環境基礎 (MVE)研究会  
【期日】2008年1月24日(木)~25日(金)  
【会場】神戸臨床研究情報センター(TRI)(予定)  
【題目】未定

★料理メディア(CM)研究会  
【期日】2007年11月29日(木)~11月30日(金)  
【会場】愛媛大学  
【題目】未定  
【共催】PRMUと併催

★ヴァーバル・ノンヴァーバル・コミュニケーション(VNV)研究会  
【期日】2008年1月下旬  
【会場】京都大学  
【題目】未定

— 2008年3月 —

★Web インテリジェンスとインタラクション(WI2)研究会  
【期日】未定  
【会場】未定(東京)  
【題目】未定

★HCG シンポジウム  
【期日】2008年3月21日(金)~22日(土)  
【会場】未定(北九州)

★ヴァーバル・ノンヴァーバル・コミュニケーション(VNV)研究会  
【期日】未定  
【会場】未定  
【題目】未定

★ヒューマンコミュニケーション基礎(HCS)研究会  
【期日】未定  
【会場】近畿(予定)  
【題目】未定

★ヒューマン情報処理研究会(HIP)研究会  
【期日】未定  
【会場】金沢工業大学  
【題目】未定

— 2007年12月 —

★福祉情報工学 (WIT)研究会  
【期日】2007年12月5日(水)~6日(木)  
【会場】産業総合研究所臨海副都心センター  
【題目】福祉情報工学一般  
【共催】HIS シンポジウムと共催, 感覚代行シンポジウム・ジェロン 2007と連続開催

★ヒューマンコミュニケーション基礎(HCS)研究会  
【期日】未定  
【会場】国立情報学研究所  
【題目】未定

★ヒューマン情報処理研究会(HIP)研究会  
【期日】未定  
【会場】東北大学  
【題目】未定